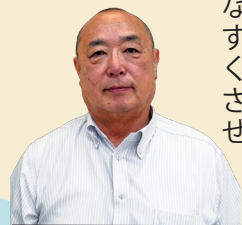


みんなの声

子ども達が安心して明倫小学校へ通えるよう、多くの人に関わっています。

子ども達により良い環境での学びを



多くの人と出会い、多様な考えに触れ、恐れず挑戦する力を身に付けていってください。そして、若い皆さんの力で新しい風を吹かせてください。

元吉原連合自治協議会会長
河村 悟さん

多くの人の中で成長を

吉原小の子ども達は、中学校進学後に、大人数の環境に戸惑ってしまうことも少なくありませんでした。早いうちから集団の中で多様な人と関わり、たくましく成長してほしいと願っています。

吉原小学校PTA代表
小谷 典裕さん



「明倫にきて良かった」と思ってもらいたい

これまでの歴史や地域の多くの人の思いを大切に受け継ぎ、一緒に「新しい明倫小」を創っていきたく思っています。

明倫小学校 校長
岡本 恵理子さん



両校 PTA スローガン

友よび、
もろともに！
伝統をつむぎ
笑顔輝く未来へ

両校の校歌のフレーズが入っています！

学んだことに誇りを持って

子ども達へ統合を伝えた時は不安そうでしたが、交流授業を重ね、徐々になじんでいると思います。吉原小やこの地域で学んだことを忘れず、新たな環境でも学校生活を楽しんでほしいです。

吉原小学校 校長
弓下 伸二さん



子ども達も楽しみにしています

明倫小の子ども達は、新しい仲間を今か今かと待ち望んでいます。学校の主人公である子ども達の思いを最優先に準備を進めていきます。

明倫小学校PTA代表
河本 博充さん



舞鶴市の学校規模適正化の考え方

少子化によって学校の小規模化が進むと「自分に合ったグループを選びにくくなる」「一定の人数が必要な学習の実施が難しくなる」「中学・高校への進学時に大きな集団への適応に苦労する」などの課題が懸念されます。

こうした中、舞鶴市では「より教育効果を上げていくための教育環境のあり方」や「子ども達にとってより良い学校教育を実現するために市として取り組むこと」を示した「舞鶴市学校規模適正化ビジョン」を策定し、将来に向けて魅力ある学校づくりに取り組んでいます。

どのような環境で子ども達に育ってほしいか

- 日常的に多様な考え方に触れることで、問題解決能力などを磨いていける
- クラス替えによって新しい人間関係を築く中で、コミュニケーション能力を向上させることができる

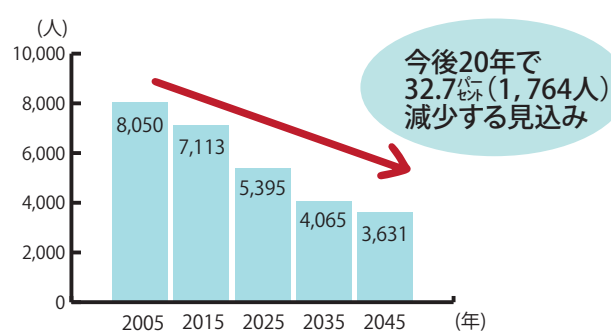


そのために…

舞鶴市が目指す望ましい教育環境

全学年が2学級以上で
クラス替えが可能な規模

小・中学校児童生徒数の推移と予測



「望ましい教育環境」の実現に向けて

複式学級が存在する、または将来的に複式学級が見込まれる小学校について優先的に取り組みます。

まずは、関係者の皆さんに、ビジョンの内容や児童数の見込みについて説明し、子ども達にとってより良い学びの環境についての意見交換を行います。

できるだけ多くの皆さんに満足いただけるよう
丁寧に議論を進めていきます。



▶詳しくは市ホームページで。
右コードからアクセス可。



より良い教育環境を子ども達へ

令和9年4月に吉原小学校と 明倫小学校を統合



吉原小学校の「子どもの未来を考える会」

20年以上前から統合の話はあったものの、母校がなくなる寂しさやPTA会長の交代などにより議論は停滞していました。しかし、児童数の減少に危機感を持ったPTAが、アンケートの実施や地域との意見交換を重ね、令和7年度に地域の皆さんと共に「子どもの未来を考える会」を設立しました。

児童数が減少している現実について「子ども達のことを我が子・我が孫と思って共に考えてほしい」と地域に訴えかけ、ようやく地域の思いが一つにまとまりました。

これまで理解し支えてくださった皆さんに感謝の思いを伝えたいです。

代表
鍵本 秀和さん



▲要望書提出時の様子

少子化が進み、複式学級の編成が続いていた吉原小学校。「子ども達により良い教育環境を」と願う保護者や地域の皆さんが、学校の統合に向けた議論を進め、令和7年10月に吉原小学校の「子どもの未来を考える会」として、明倫小学校への統合を求める要望書を提出されました。

舞鶴市は、こうした思いを重く受け止め、令和9年4月に吉原小学校と明倫小学校の統合を決定しました。現在、両校ではスムーズな統合に向けた交流授業の編成が続いています。今回は、吉原小学校の統合に向けたこれまでの歩みや関係者の思いを紹介し、また、市では少子化に対応し、将来に向けて魅力ある学校づくりを進めるため「舞鶴市学校規模適正化ビジョン」を策定しました。学校規模に関する考え方や市が目指す「望ましい教育環境」をお伝えします。

《教育未来課》